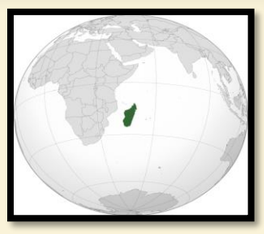
松村 美波　マダガスカル

（コミュニティ開発・2019年度2次隊・東京都世田谷区）

［マダガスカル共和国］



マダガスカル共和国の概要

1.面　　積：587,295平方キロメートル（日本の約1.6倍）
2.人　　口：2,697万人（2019年、世界銀行）
3.首　　都：アンタナナリボ（Antananarivo）
4.民　　族：アフリカ大陸系、マレー系、
　　部族は約18（メリナ、ベチレオ他）
5.言　　語：マダガスカル語、フランス語（共に公用語）
6.宗　　教：キリスト教、伝統宗教、イスラム教
7.主要産業：農林水産業、鉱山業、観光業
8.ＧＤＰ：141億米ドル（2019年：世銀）

［お気に入りのグルメ（食）］

マダガスカルの食事は、てんこ盛りのお米とおかずが基本です。労働人口の約74%が農業（特に稲作）に従事しており、1人当たりの米の年間消費量は 120kg と日本の約 2 倍に相当するほど、実はお米大国です。
　定番のおかずは葉物や豆スープで、味付けは塩のみと大変シンプルです。中でもお気に入りだったのは、写真右上の「ラヴィトゥトゥ・シ・ヘナキスア(ravitoto sy henakisoa)」です。
「ラヴィトゥトゥ」はキャッサバの葉、「ヘナキスア」は豚肉を意味し、キャッサバの葉っぱを石うすと杵を使ってペーストのようにしたものと、脂肪がついた豚バラブロック肉を煮込み、にんにくと塩で味付けした定番家庭料理です。
味はお茶っぱそのもので、人によって好き嫌いがはっきり分かれますが、店や地域によってバリエーションがあり、ついついクセになります。
食後はおこげを白湯で薄めた「ラヌ・ナパング(ranonapango)」と呼ばれるものを飲みます。

［私の任地］

1.任地の名前：アナラマンガ県アンズズルベ郡アンズズルベ市
2.任地の人口：約 2万人
3.日本人の数：2人（同じくJICA海外協力隊員）
4.首都からのアクセス：乗合バスで約 3 時間
5.庶民の足：徒歩、自転車、バイク、乗合バス
6：物価：水1.5L約54円（2,000アリアリ）、ビール瓶650ML約95円（2,700アリアリ）、お米1kg約50円（1,800　アリアリ）、食堂での定食約82円（3,000アリアリ）。

［活動内容］

　対象地域に点在する24農村を自転車で巡回し、戦後日本の農村で実施された「生活改善アプローチ」を展開しました。お金をかけずに身の回りのもので生活の質改善や、収入創出を目的とした活動で、田んぼの土と藁で改良かまど作りをしたり（写真参照）、料理講習会を実施しました。
一般的な農村の家庭では3 つの石を用いた3点かまどを使用していますが、熱効率が悪く大量の薪を使用するため、薪拾いに行く手間がかかる他、深刻な森林破壊の一因となっています。
しかし改良かまどを使うことで、1回の調理に必要な薪の使用量を1/3削減し、森林伐採を削減でき、家事負担の軽減としても効果的です。
活動内容もさることながら、作業中の何気ない会話や農作業の手伝いを通した関係構築を大切にしていました。

職場の同僚と植林活動をしている様子です。

稲刈りの脱穀作業をしています。一般の農家では脱穀機が無いので、大きな石に叩きつけて脱穀します。